



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 3192 番

90.4.3

No.

正当なストライキへの不当処分策動を許すな

4・8 千葉労働 総決起集会 千葉公園へ

—午後1時—

北海道新聞

1990年(平成2年)3月23日(金曜日)

国鉄清算事業団

「分割・民営は間違い」

川合さん自殺で旭川の支所 助役、追及受け涙の謝罪

【旭川】「国鉄の分割・民営化と清算事業団の設置は間違っていた」。元国鉄労働部の川合浩司さん(58)の死で揺れる旭川で二十一日、国鉄清算事業団支所筆頭助役の一人がこう語り、事業団幹部の前で涙々と頭を下げた。

この日の朝礼後、四支所が疎くなく、川合さんの死の支所が二十日の解雇予告の取り扱いを巡って事業団側を追及、延々とやりとり

支所長が「立場上答えられない」としたため、筆頭の助役が答えた。同助役は「間違え発言」に就き「清算事業団という

ものがなかったら、こういう不幸な事態は生まれなかつた」と述べ、「自殺されたら」と話しながら涙を流した。川合さんの死の支所が二十日の解雇予告の取り扱いを巡って事業団側を追及、延々とやりとり

仲直りたちの無念・悔しさに涙を流す。川合さんの死の支所が二十日の解雇予告の取り扱いを巡って事業団側を追及、延々とやりとり

三月三十一日、政府・清算事業団当局は、三井・三池炭坑の首切り(一九六〇)以来の非道な大量解雇を強行した。われわれは、この暴挙を断じて許さない！

倍・数十倍にして、今すぐ激しい弾劾にたちあがらなければならぬ！ JR当局とJR総連は、三月一九・二〇日に予定されていたストライキに對し、スト前日(一八日)の朝から庁舎の門を閉じ、組合役員の出立入りを実力で阻止し、泊乗務員に對してスト突入以前にもかかわらず、追い出すという前代未聞の違法行為を繰り返した。

た。ところが彼らは、自らの不当労働行為をタナにあげ、動労千葉に責任を押し付け重処分を加えるようとしているのである。どうしてこのような暴挙がゆるせらるるか！

総決起集会!